
4 0 5 3 . システム外 C Y 搬入確認 (一括搬入)

業務コード	業務名
C Y E	システム外 C Y 搬入確認 (一括搬入)

1. 業務概要

本業務は「システム外CY搬入確認（B／L単位）（事前登録）（CYD01）」業務で登録した情報を使用し、システム参加保税地域等*¹以外からCYに到着した輸入コンテナ貨物、仮陸揚コンテナ貨物及び空コンテナについて当該CYへのすべての搬入が終了した旨を一括登録する。

システムは、本業務を契機に以下の処理を自動起動する。

- ①包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を自動起動する旨が登録されている貨物についての個別運送情報登録処理
- ②保税運送申告を自動起動する旨が登録されている貨物についての保税運送申告処理
- ③輸入申告等を自動起動する旨が登録されている貨物についての輸入申告等処理
- ④特定保税運送を自動起動する旨が登録されている貨物についての特定保税運送処理
- ⑤輸入畜産物の到着後申請を自動起動する旨が登録されている貨物についての輸入畜産物検査申請処理

（* 1）システム参加保税地域等とは、システムに参加している保税地域または「他所蔵置許可申請（TYC）」業務または「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務で登録された他所蔵置場所をいう。なお、システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

2. 入力者

CY

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「0000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（2）該当コンテナ番号抽出処理

入力された船舶コード+情報整理番号+船卸港コード+船会社コードの当該CYにおいて一括搬入済でないコンテナ情報を抽出する。

- (3) 該当B/L番号抽出処理
入力された船舶コード+情報整理番号+船卸港コード+船会社コードの当該CYにおいて一括搬入済でないB/L情報を抽出する。
- (4) コンテナ情報DB処理
抽出したコンテナ番号に係るコンテナ情報DBに対して、当該CYへ搬入した旨を登録する。
- (5) 貨物情報DB処理
抽出したB/L番号に係る貨物情報DBに対して、以下の処理を行う。
①当該CYへ搬入した旨を登録する。
②到着即時輸入申告扱いまたは貨物到着前輸入申告扱いの予備申告の登録がされている輸入貨物の場合は、予備申告（搬入確認登録時本申告自動起動）を行う旨に変更して、本申告処理を自動起動する。
- (6) 本申告（輸入申告等^{*2}）起動処理
当該貨物に予備申告がされた旨が登録されている場合で、本申告（輸入申告等）を当該保税地域で自動起動する旨が登録されている場合は、本申告処理を自動起動する。
（*2）輸入申告等とは、輸入申告、輸入（引取）申告、蔵入承認申請、移入承認申請、総保入承認申請のことをいう。
- (7) 包括保税運送承認に係る個別運送情報登録起動処理
包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を自動起動する旨が登録されている貨物について、個別運送情報登録処理を自動起動する。
（詳細はOLC業務を参照）
- (8) 保税運送申告（個別）起動処理または特定保税運送起動処理
保税運送申告（個別）を自動起動する旨が登録されている貨物について、保税運送申告処理を自動起動する。
（詳細はOLC業務を参照）
- (9) 輸入申告等処理の起動
輸入申告等を自動起動する旨が登録されている貨物について、輸入申告等処理を自動起動する。
（詳細は「輸入申告（IDC）」業務を参照）
- (10) 輸入畜産物検査申請自動起動処理
当該貨物に輸入畜産物検査申請（到着後申請自動起動）の旨が登録されている場合、B/L番号単位に輸入畜産物検査申請（到着後申請）を自動起動する。
- (11) 出力情報出力処理
後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。
- (12) 注意喚起メッセージ出力処理
以下の場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。
①内部処理を実施している場合。
②本業務の実施日と搬入年月日の差が7日以上の場合。
③本業務の実施日が所要時間調査期間中である旨がシステムに登録されており、搬入時刻が入力されていない場合。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
危険貨物等通知情報	危険貨物等コード（税関要通知）が登録されている場合	税関 （保税担当部門）

7. 特記事項

本業務は多量のコンテナ番号またはB／L番号を処理するため、以下の処理の流れとなる。

- ①入力受付条件のチェックをした後、処理結果通知の出力処理を行う。
- ②多量のコンテナ・貨物に対して、一定の小さな処理単位に分割してDB処理等の内部処理を行う。